

顔面①ソウハク()をもじった「(1)顔面総白」の創作四字熟語が登場したのは2009年だった。新型インフルエンザが日本に「上陸」して流行し、マスクが売り切れに。白いマスク顔が街にあふれて外国人観光客を驚かせた▼初夏からの流行に、「マスクは冬の(2)風物詩ではなくなった」という声も聞こえてきた。保育所が休養したり、修学旅行の中止が生徒を泣かせたり、ピリピリして身構えた記憶がよみがえる、韓国のウイルス禍である▼中東呼吸器症候群(MERS)コロナウイルスの感染者は増えて、死者は16人を数える。社会不安は広がり、②ヒヤツカ()店の売り上げや遊園地の入場客も落ち込んでいるという。③朴槿恵()大統領は訪米を④エンキ()した▼⑤サツコン()のニュースでよく目にしたのは、エボラ出血熱のひもを結んだようなウイルスだった。今度のは丸い。周りの⑥トツキ()が太陽のコロナに似ていることから名がついた。あれやこれや、次から次へと、ミクロの病原体に人類が攻められている図といえる▼⑦疫病()の流行は、ささいな⑧チョウコウ()から始まるのが常のようだ。小説だが、(3)カミュの名作「ペスト」は、医師が階段で1匹の死んだネズミにつまずくところから始まる。それが(4)燎原の火の前兆だった。今回、韓国では、最初の患者への対応の誤りが広がり招いたと批判されている▼ウイルスはいつどこへ飛び火しても不思議はなく、⑨他人事()でいられる国はあるまい。(5)水際の備えを万全にして、万一のときも素早く消し止めたい。隣国の早い⑩シユウソク()を願いながら。「2015年6月16日「天声人語」

問一 ①～⑩のカタカナ部は漢字に直し、傍線部は読みを答えなさい。

問二 傍線部(1)はどんな状態を表現したものか、35字程度で答えよう。

問三 傍線部(2)の意味を答え、四季それぞれの具体例を1つずつ答えよう。

・意味()

・春() 夏() 秋() 冬()

問四 傍線部(3)の作品を、次から選び記号に○をつけよう。

ア 『城』 イ 『嘔吐』 ウ 『居酒屋』 エ 『異邦人』

問五 傍線部(4)は、「ペスト」がどのような状態になることか。

()

問六 傍線部(5)の具体的な場所を3字以内で2か所答えよう。

()

問七 各段落の内容を20字～30字の一文でまとめよう。

一段落…()

二段落…()

三段落…()

四段落…()

五段落…()

六段落…()